

## 報告事項（3） 自動運転実証運行の実施について

## 1. 背景と目的

本市随一の観光地である沼津港は、自家用車での来場が多く、沼津駅のある中心市街地への回遊が見られず、にぎわいの波及が長年の課題となっています。近年は、バスのドライバー不足も顕著となり、路線を維持したくても人手不足により、減便や路線の廃止が余儀なくされる課題が存在しています。

これら課題解決のため、沼津駅－沼津港間という中心市街地のメインストリートを、自動運転車両が走行することで本ルートを通るにぎわいの軸として位置づけ、ドライバー不足の解消だけでなく、本事業を契機に街全体の活性化につなげることを目指しています。

## 2. 実証実験の概要

## (1) 運行の内容

## 1) 運行区間

沼津駅⇄沼津港間（片道 2.2km） 「上土バス停」に降車可能

## 2) 使用車両等

車種 小型電気（EV）バス BYD-J6 先進モビリティ（株）

定員 着座 15名

速度 40km/h 程度（運転手搭乗型自動運転レベル2）

## 3) 運行期間等

令和8年2月6日（金）～2月23日（月）のうち、金～月曜日 計12日間

平日6往復/日、土・日・祝日5往復/日

※期間の前半は伊豆箱根バス（株）、後半は（株）東海バスに搭乗運転手のご協力

## 4) 乗車方法

事前予約制（無料）

## (2) 実証の内容

## 1) 路車協調（信号連携）

自動運転車両が、信号機から青時間の残り秒数を受信することにより、交差点の安全な通過・停止を判断でき、円滑に通行することが可能となります。



## 2) 路車協調（路側センサ）

人や車の往来が複雑な駅前ロータリーからバスが発進できるように、専用のセンサをロータリー内に設置し、発着地からの安全な運行を実現します。



## 3) 遠隔監視システム

将来の無人運行に向けて、自動運転の運行状況を遠隔地で把握する監視システムを配備します。

伊豆箱根バス（株）、（株）東海バスの各事務所内に設置し、運行事業者の視点にて検証を深めます。



## 4) 路上駐車対策

注意喚起の看板を設置し、路上駐車抑制を行う。近隣の荷捌き環境など現状を把握し対策の検討を行います。

自動運転車両側でも路上駐車を回避できるよう、技術をアップデートします。

